



水土里情報を活用し、県内全市町村の水田台帳を図化した事例を紹介します。

今回紹介する団体：水土里ネット山形、山形県、山形県内35市町村、
山形県農業共済組合連合会

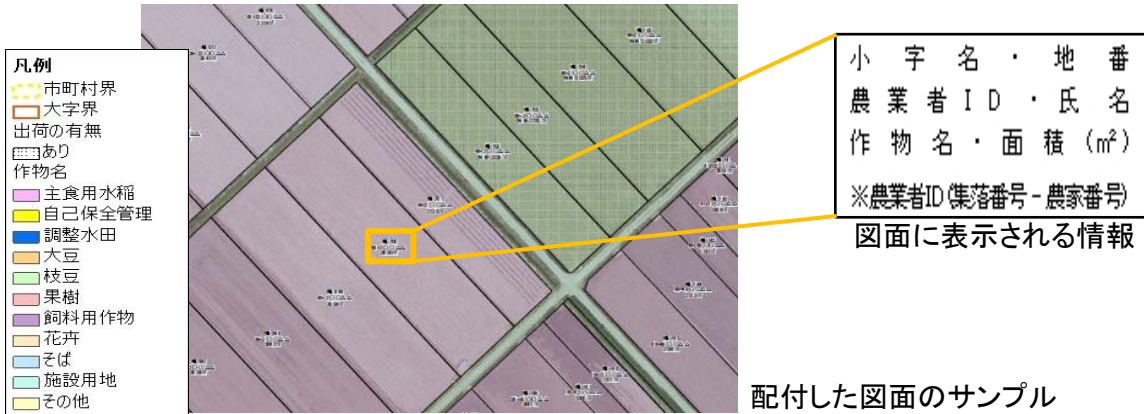
取組概要

内容：県内全域の水田台帳を、水土里情報利活用促進事業で整備した航空写真、農地筆・区画図などの地図情報と結合して図化。市町村と農業共済組合に図面を配布し、耕作位置や作物の確認、農家との会議等において活用。

経緯：①地域水田農業推進協議会が保有する水田台帳は、市町村毎に紙ベースの台帳や電子ファイルとして整備されていた。

②水土里情報利活用促進事業により県内の農地の航空写真、農地筆・区画図等が整備されたことから、山形県と水土里ネット山形が、県内市町村と農業共済組合に対し、両データの結合を提案。

③多くの関係機関が賛同し、県全体で92%の水田台帳と水土里情報を結合。
(結合作業の過程で、耕作者に直接ヒヤリングを行い、大字・小字・地番の照合や訂正を行い、耕作位置を特定。)



配付した図面のサンプル

期待される効果

- ①農業者ID、作付け作物名等を表示した図面を活用することで、水田の転作確認作業や、農業者戸別所得補償制度の現地確認作業が効率化。
- ②確認を行った水田台帳に管理コードを追加し、データ更新等の作業が容易化。

今後の活用予定

今回整備した作付け作物の情報に加え、今後は、作付け品種の情報を追加し、毎年データ更新をしていくことを検討中。

■お問い合わせ先

山形県農林水産部農山漁村計画課

023-630-2504

山形県土地改良事業団体連合会(水土里情報センター)

023-647-5387

農林水産省農村振興局整備部設計課計画調整室(横田、柳川)

03-6744-2201(直通)